

福山シティフットボールクラブがもたらす経済効果の試算

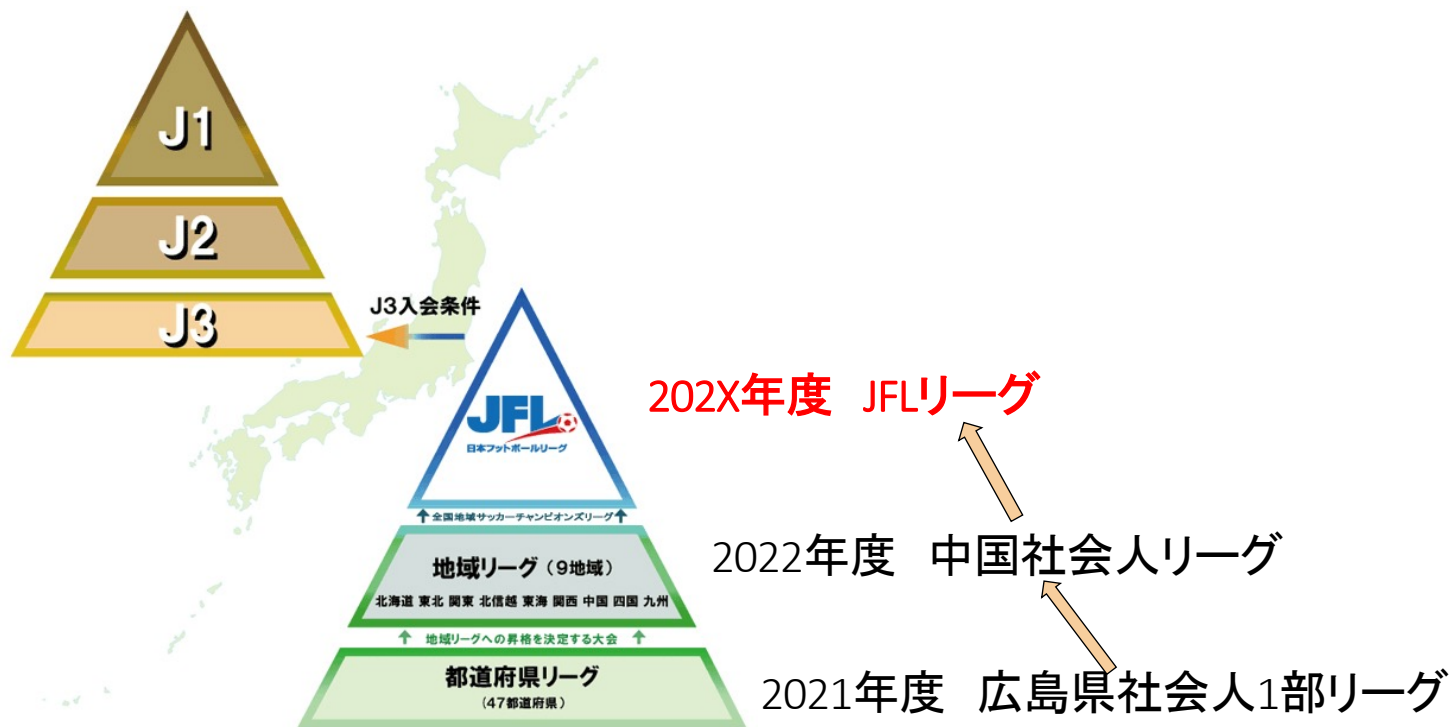
—2021年実績およびJFL昇格段階の予測—

福山市立大学 都市経営学部 教授

長谷川 良二

I. 経済効果試算の概要

- ◆ 2021年(暦年)における福山シティFCの活動実績がもたらした直接・間接的な経済効果を試算
- ◆ 日本フットボールリーグ(JFL)昇格時における経済効果の予測



出典) 日本フットボールリーグオフィシャルWebサイトより抜粋(一部加工)
(<http://www.jfl.or.jp/jfl-pc/view/s.php?a=1902>)

Ⅱ．経済効果の計測方法

(1) 直接効果

- ◆ 福山シティFCより提供された会計報告書やスポンサー企業リストなどの内部資料、および福山シティFCとのヒアリングにより把握
- ◆ 不明な部分は各種統計資料より推計
総務省(2019, 2022)、広島県(2020)など

(2) 間接効果

- ◆ 間接的な経済効果を計測する手法の1つである産業連関分析を実施
- ◆ 福山市(2017)が作成した「備後圏域産業連関表」のうち2012年福山市産業連関表(102部門)を中心に各種統計資料を使用

(3) 経済効果の計測の範囲：経済効果の内訳

◆ 直接効果①：福山シティFCによる(最終需要としての)事業収益

- 1) 試合－現状(2021年)では観戦料は無料
- 2) グッズの販売、ファンクラブ、サッカー教室等
- 3) スポンサー契約

◆ 直接効果②：選手・スタッフ等の消費支出

◆ 間接効果：1次波及効果

直接効果の需要を満たすために発生する間接的な生産の増加

◆ 間接効果：2次波及効果

1次波及効果による生産増で予想される、消費支出の増加が生み出す生産の増加

※ 地理的範囲：福山市内で発生する経済効果に限定

(4) 日本フットボールリーグ(JFL)昇格時における直接効果増大の想定

◆ 直接効果① : 福山シティFCによる(最終需要としての)事業収益

1) 試合－観戦料の有料化

⇒ 観客数増・収益増を想定

2) グッズの販売、ファンクラグ、サッカー教室等

⇒ 収益増を想定

3) スポンサー契約

⇒ 現状維持

◆ 直接効果② : 選手・スタッフ等の消費支出

⇒ 現状維持

◆収益増予測の概要

1) 試合観戦料

年間観戦料収益: 2400万円

- 観戦料: 1000円/人/試合(JFLの標準チケット料を想定)
- ホームゲーム平均観戦者数: 1600人/試合
- ホームゲームの年間試合数15試合

2) グッズの販売、ファンクラブ、サッカー教室等による収益増

- 平均観戦者数の増加率に応じて売り上げが増加すると仮定
- 2021年における平均観戦者数: 314人/試合

$$1600/314 = \text{約}5\text{倍}$$

参考: 観客動員数実績

2022年4月3日 中国サッカーリーグ第2節

2731人

(福山シティFCホームゲーム開幕戦)

Ⅲ. 経済効果の試算結果

試算結果－他研究との比較も交えて

(百万円)

	福山シティFC		バンディオンセ加古川 ^(注2)		ニューウェーブ 北九州 ^(注3)	
	現状 ^(注1) (2021年実績)	JFL 昇格時	現状 (関西リーグ)	JFL 昇格時	J2参入 直後	J1昇格 段階
① 直接効果	69.80	153.43	24.71	89.99	580	1299
② (内、市内自給分)	56.70	124.23	不明	不明	不明	不明
③ 間接1次効果	12.00	27.77	2.92	11.30	321	729
④ 間接2次効果	12.67	27.64	2.1	7.55		
総合効果(①+③+④)	94.47	208.84	29.73	108.83	901	2028
総合効果/直接効果	1.35	1.36	1.20	1.21	1.55	1.56

(注1)広島県社会人1部リーグ所属時点。

(注2)森澤(2016)による試算であり、2015年時点を現状としている。なおバンディオンセ加古川は2022年4月現在ではCento Curore HARIMAにチーム名を変更している。

(注3)南(2009)による2008年時点を現状(JFL所属時)とした将来予測の試算。なお2008年時点ではまだJリーグにおいてJ3は設置されていない。

福山シティFCがもたらす経済効果の構造

- ◆100万円当たりの福山シティFCへの消費支出(直接効果)が福山市内にもたらす経済波及効果(間接1次効果)

⇒23万3100円

(参考:競合する産業部門)

- ◆娯楽サービス業:8万3231円

- ◆全産業平均:20万9324円

IV. まとめと考察

(1) まとめ

- ◆福山シティFCの経済効果は、現状(2021年実績)で**直接効果**が**6980万円**、間接的な効果も含めた**総合効果**は**9447万円**
- ◆日本フットボールリーグ(JFL)昇格時の予測として、**直接効果**が**1億5343万円**、**総合効果**は**2億0884万円**となり、総合効果で見ると現状の2.2倍増

(2) 考察

- ◆JFL昇格時の試算は過小評価
- ◆アマチュアリーグの所属チームとしてはスポンサー企業やファンが多いこともあり、相対的に大きな経済効果をもたらしている。
- ◆地元経済により大きな経済効果を生み出す波及構造を形成



地域密着型クラブチームとしての活動が、経済効果創出
という面でも地域貢献できている

<謝辞>

本研究は、福山市立大学と福山シティフットボールクラブとの間で締結された包括協定の下で実施された研究活動の成果の一部である。

研究を進める過程で、福山シティフットボールクラブ・代表の岡本佳大氏には会計報告書やスポンサー企業リストなどの詳細な内部資料をご提供頂いたほか、幾度にも渡るヒアリングにおいて有益な情報をご教示頂いた。ここに感謝の意を申し上げる。また福山市経済環境局経済部産業振興課からはウェブサイトで一般公開されていない、詳細版の備後圏域産業連関表をご提供頂いたことに対しても重ねて感謝の意を申し上げます。

なお有りうるべき誤謬は全て筆者に帰するものである。

<参考文献>

1. 総務省(2019)「2015年産業連関表(確報)」総務省統計局
2. 総務省(2022)「2021年家計調査年報」総務省統計局
3. 広島県(2020)「平成29年度広島県市町民経済計算結果」広島県総務局統計課
4. 福山市(2017)「備後圏域産業連関表」福山市経済環境局経済部産業振興課
5. 南博(2009)「プロサッカーチームが北九州市に与える経済効果に関する研究」『地域課題研究2008』(北九州市立大学都市政策研究所)、pp.187-210.
6. 森澤龍也(2016)「兵庫県の地域サッカーチームが周辺地域に与える経済効果の一試算ーバンディオンセ加古川のJFL昇格を想定した試算ー」『流通科学大学論集ー経済・情報・政策編ー』第24巻第2号、pp.13-31.
7. 日本フットボールリーグオフィシャルWebサイト
(<http://www.jfl.or.jp/jfl-pc/view/s.php?a=1>) (最終閲覧日:2022年6月10日)